

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
定時株主総会 毎年6月に開催します。  
剰余金の配当の基準日  
    期末配当 3月31日  
    中間配当 9月30日  
定時株主総会の基準日 3月31日  
    その他必要があるときは、予め公告して基準日を定めます。

電子提供制度に伴って、議決権の基準日までに書面交付請求をお願いします。

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
郵便物送付先 168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問い合わせ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
受付時間は9:00~17:00 (土日祝日を除く)

特別口座に関する  
事務取次所 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。  
なお、電子公告によることができない事故その他  
やむを得ない事由が生じたときは、大阪市において  
発行する産業経済新聞に掲載いたします。  
(ホームページ) <http://www.kurimoto.co.jp>

単元株式数 100株  
上場証券取引所 東京証券取引所  
証券コード 5602

### ■ 100株未満の株式をお持ちの株主様へ

当社の単元株式数(売買単位)は、100株です。  
一方、単元未満株式(1~99株)につきましては、証券市場で売却することはできませんが、当社に対して買取を請求して売却できる制度をご利用いただけます。お手続き等の詳細は、お取引の証券会社もしくは、上記のみずほ信託銀行までお問い合わせください。

### ■ 株式に関するお問い合わせ先

- 証券会社に株式をお預けの株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受け取り方法の変更等、株式に関する各種お手続きは、お取引の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に株式を預けておられない株主様の場合、当社のみずほ信託銀行に開設しております[特別口座]にて株式を管理しています。特別口座の株式は、単元未満株式の買取請求を除き売買できませんので、証券会社に株主様名義の口座を開設し、株式を振替されることをお勧めいたします。お手続き等の詳細は、特別口座の口座管理機関である、上記のみずほ信託銀行へお問い合わせください。
- 未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

ホームページで最新情報を即座に発信

<https://www.kurimoto.co.jp>



KURIMOTO REPORT 2022

<https://www.kurimoto.co.jp/csr/>



KURIMOTO

第127期

中間報告書

2022年4月1日~2022年9月30日

株式会社 栗本鐵工所



[コーポレートメッセージ]

## モノづくりで未来を創る、クリモト

クリモトは、1909年の創業以来、お客様満足第一のモノづくりに徹して、社会のインフラ整備、ライフラインや産業設備の拡充に貢献してきました。

これからも、110年で培った技術力にさらに磨きをかけ、独自の技術と製品・サービスで社会の生命線と人々の暮らしを守り、社会に貢献し続けたい。

そして、チャレンジ精神・創造力溢れるオンリーワン企業へ。

それが、クリモトの願いです。

[企業理念]

1. 私達は水と大気と生命(いのち)の惑星、地球を大切に、人間社会のライフラインを守ります。
2. 私達は「安心」という価値を提供し、社会と顧客の信頼に応えます。
3. 私達は顧客の声をよく聴き、顧客から学び、独自の技術を深め、新しい技術を加え、顧客にオリジナルな「最適システム」を提案します。
4. 私達はモノづくりを通して、社員の幸せと人間社会の幸せを目指します。
5. 私達はこれらの実践のため、コンプライアンス経営を徹底し、継承と変革の調和を計り、個性と創意を尊重し、企業の発展と社会への貢献に努めます。

### CONTENTS

3	トップコミットメント
5	事業の概況
6	事業部別営業品目の紹介
7	財務ハイライト
8	連結財務諸表
9	株式の状況
10	会社概要

ステークホルダーの皆様へ

## 長期的な事業運営を 視野に入れた体制を 構築してまいります。

株式会社栗本鐵工所 代表取締役社長 菊本 一高



### 第127期中間期の概況をご報告いたします

平素は当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は1909年2月に鑄物技術を活用した水道用鑄鉄管製造をもとに創業して以来、快適で安心して暮らせる社会の実現のため、113年にわたって社会のインフラ整備、ライフラインや産業設備の拡充に取り組んでまいりました。当社グループをお引き立て、ご愛顧いただいておりますステークホルダーの皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、2022年度上期を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は国内では第7波と呼ばれる感染者増があり、中国では今なお厳格なゼロコロナ政策が継続

されています。また、ウクライナ情勢もいまだに終結の兆しが見えず、エネルギーや原材料価格は高騰しています。さらにアメリカをはじめとする海外の中央銀行が利上げに踏み切る中、日本では金融緩和が継続され、金利差による急激な円安、物価上昇が進むなどし、依然として国内経済、世界経済とも先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下ではありましたが、2022年度第2四半期の連結業績は、期初公表値と比較いたしますと、売上高、営業利益とも想定を上回る結果となり、また前年度と比較いたしましても増収増益となりました。しかしながら市況や事業環境は非常に不安定な状況

が続いております。依然として予断を許さない状況が続いていると認識しております。

既にお伝えしておりますとおり、当社グループでは昨年度より新たな中期3カ年経営計画を推進しており、当第2四半期はちょうど折り返し点にあたります。引き続き、当中期3カ年経営方針である「業務改革によりニューノーマルへの順応を図るとともに、長期的な事業運営を視野に入れた体制を構築する」を実践し、今期業績目標の達成、ひいては、当中期3カ年経営計画の達成に向けて邁進してまいります。

本年4月4日より、東京証券取引所の市場が再編され、当社は、「プライム市場」に上場いたしております。プライム市場上場企業として、持続的成長に向け全力を尽くすことはもちろんですが、ガバナンス体制の強化や社会貢献、環境への配慮等、これまで以上に求められることとなります。このため、当社グループは、「チームクリモト」として一丸となって、積極的に勇敢にチャレンジする組織風土をさらに醸成し、「焦らず・力まず・諦めず」に、常にお客様にとっての最適なシステム（商材、仕組、ノウハウ、サービス等の組み合わせ）を提供してまいります。

変わることを恐れず、これまで、そしてこれからも、人や社会にとってより良い未来を創造することを目指し、当社グループは変わり続けてまいります。

### 経営理念

私たちは、  
全てのステークホルダーの  
期待と信頼に応え、  
常に最適なシステムを提供し、  
『夢ある未来』を創造します。

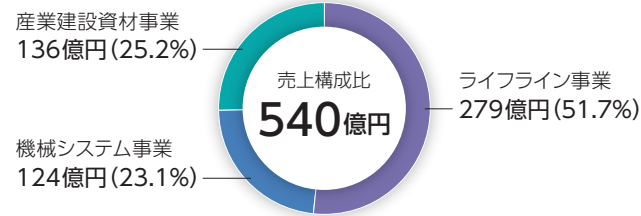
### 配当について

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を最重要政策のひとつと位置付けており、安定的・継続的に配当を実施することを基本方針といたしております。

この度、当期の業績および経営環境等を総合的に判断いたしました結果、当期の中間配当につきましては1株当たり40円といたします。

長きにわたり、事業活動を継続できたことは、ひとえにステークホルダーの皆様のご指導、ご鞭撻の賜物です。

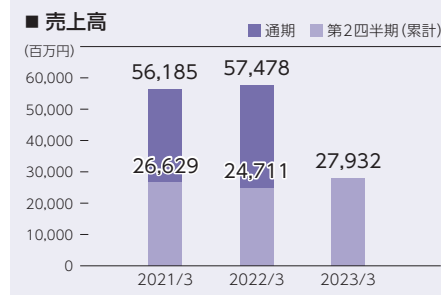
これからもより一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## ライフライン事業 売上高 279億円

「ライフライン事業」は、売上高につきましては、パイプシステム部門、バルブ部門において売上高が増加したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比3,220百万円増収の27,932百万円となりました。

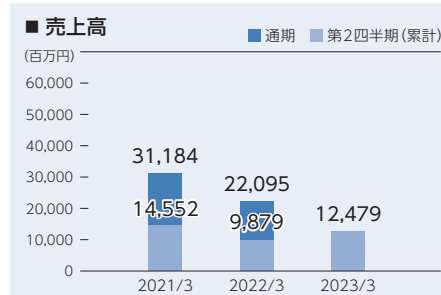
営業損益につきましては、原材料価格の高騰の影響もありましたが、高付加価値商品の売上高が増加したことなどが影響し、前第2四半期連結累計期間比802百万円増益の1,543百万円の利益となりました。



## 機械システム事業 売上高 124億円

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門においてプレス機関連の売上高が増加したことなどにより、素形材部門においては破碎機、鋳物部品の出荷が増加したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比2,600百万円増収の12,479百万円となりました。

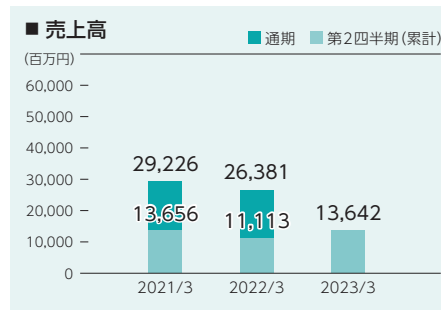
営業損益につきましては、機械部門、素形材部門がともに増収となった影響などにより、前第2四半期連結累計期間比650百万円増益の260百万円の利益となりました。



## 産業建設資材事業 売上高 136億円

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において空調製品、土木製品の出荷が増加したことなどにより、化成品部門においては下水道向け製品やFRP製検査路の出荷が増加したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比2,529百万円増収の13,642百万円となりました。

営業損益につきましては、原材料価格の高騰の影響もありましたが、建材部門、化成品部門がともに増収となった影響などにより、前第2四半期連結累計期間比580百万円増益の494百万円の利益となりました。



### ライフライン事業



#### パイプシステム事業部

ダクタイル鉄管の製造販売をはじめ、管路の設計・施工監理業務やICTを活用した施工管理システムなどを通じてライフラインの維持・更新を包括的にサポート致します。

#### ●営業品目

ダクタイル鉄管(直管、異形管、接合部品)、管路の設計、施工、施工監理業務および管路調査、点検等の維持管理業務



#### バルブシステム事業部

浄水場などの官需分野から、発電所・製鉄所・プラントなどの民需分野、海外向けのバルブを多数取り扱っております。

#### ●営業品目

バタフライ弁、ソフトシール切替弁、スリーブ弁、火力・水力発電設備用バルブ、貯水槽用緊急遮断弁、各種調整弁、高炉用弁類、スプリンクラー用予作動式(負圧湿式、乾式)流水検知装置

### 機械システム事業



#### 機械システム事業部

さまざまな産業の生産ラインを支える産業機械設備は各種製品を世に送り出す一翼を担っています。また、単体設備からトータルエンジニアリングまで、幅広く社会に貢献してまいります。

#### ●営業品目

微粉砕機、分級機、造粒機、乾燥機、焼成機、混合・混練・分散機、反応機、溶剤回収装置、二次電池材料製造装置、各種産業機械、試験機械、プラントおよびシステム設備、鍛造プレス、ベンディングロール、鍛圧機各種周辺装置、プラントエンジニアリング事業/各種プラントの設計、製作、調達、建設、試運転およびメンテナンス



#### 素形材エンジニアリング事業部

破碎技術・材料技術を有する素形材エンジニアリング事業部の商品群は、骨材資源業界、鉄鋼業界、電力業界、セメント業界、鉄道運輸業界を網羅して各種産業分野で活躍しております。

#### ●営業品目

破碎機、粉砕機、分級機、搬送機械、耐摩耗鋳物、耐熱鋳物、耐摩耗ポンプ、鉄道用プレーキディスク、プレーキライニング、(英) TEREXFINLAY商品

### 産業建設資材事業



#### 建材事業部

幅広い製品ラインナップと迅速なデリバリーで皆様の期待にお応えしております。

#### ●営業品目

スパイラルダクト、各種フレキシブルダクト、サイレントフレックス、各種消音製品、ステンレスダクト、スーパースパイラル、プレミアムスパイラルダクト、コルエアダクト(段ボール製ダクト)、ワインディングシース、ポリエチレンシース、ワインディングパイプ、梁貫通孔補強筋(スーパーハリー Z)、中空スラブ、各種耐震製品、ハーフプレキャスト製品(カイザースラブ・カイザーバルコニー)、PCaシステム階段、消音・騒音対策事業(測定・設計・製作・施工・確認)、透光型吸音パネル(ビューゾーン)



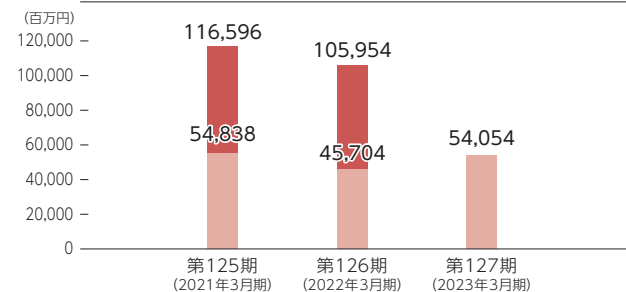
#### 化成品事業部

FRPが持つ多機能で自由度の高い特性を活かし、真に信頼される製品づくりを目指して、広く社会基盤の整備に貢献してまいります。

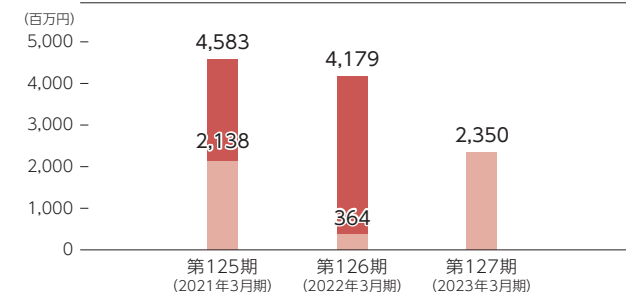
#### ●営業品目

強化プラスチック複合管(FRPM管)、強化プラスチック管(FRP管)、強化プラスチック複合板(FRPM板)、FRPコア、FRP引抜成形品、各種合成樹脂成形品

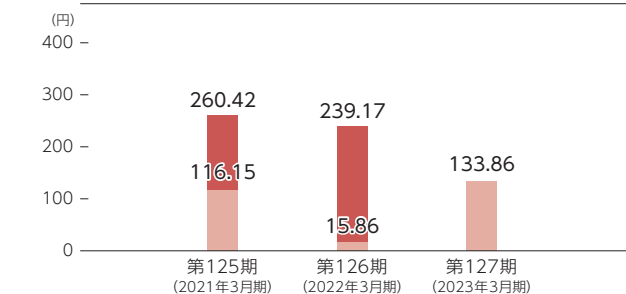
■ 売上高



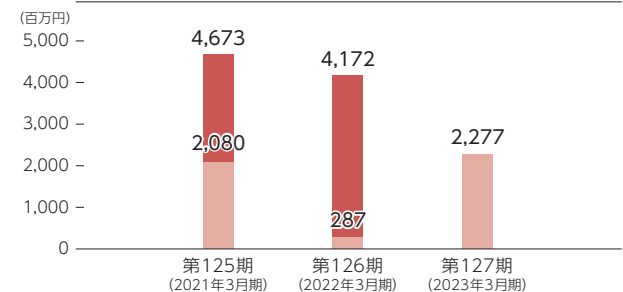
■ 経常利益



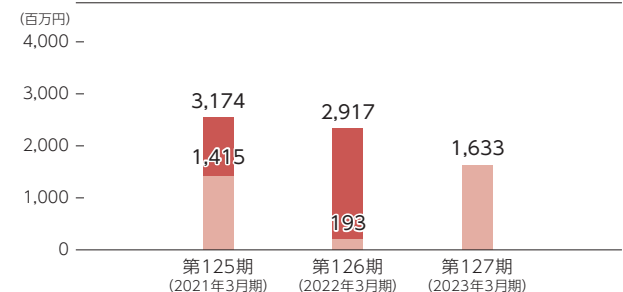
■ 1株当たり四半期(当期)純利益



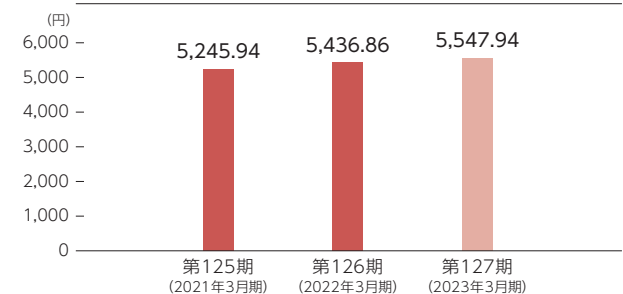
■ 営業利益



■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



■ 1株当たり純資産額



■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
	2022年9月30日現在	2022年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	88,357	89,149
固定資産	50,327	50,573
有形固定資産	32,638	32,525
無形固定資産	1,587	1,773
投資その他の資産	16,101	16,274
資産合計	138,685	139,722
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	59,869	61,846
固定負債	9,795	10,256
負債合計	69,664	72,102
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	64,499	63,287
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	28,236	27,029
自己株式	△ 1,796	△ 1,802
その他の包括利益累計額	3,217	3,054
その他有価証券評価差額金	3,158	3,256
繰延ヘッジ損益	7	1
為替換算調整勘定	241	44
退職給付に係る調整累計額	△ 190	△ 247
非支配株主持分	1,304	1,277
純資産合計	69,020	67,619
負債・純資産合計	138,685	139,722

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	54,054	45,704
売上原価	41,220	35,394
売上総利益	12,833	10,309
販売費及び一般管理費	10,556	10,022
営業利益	2,277	287
営業外収益	342	290
営業外費用	269	213
経常利益	2,350	364
特別利益	70	0
特別損失	2	56
税金等調整前四半期純利益	2,418	308
法人税、住民税及び事業税	722	86
法人税等調整額	14	△ 42
法人税等合計	737	44
四半期純利益	1,680	263
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,633	193

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2022年4月1日から 2022年9月30日まで	2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,926	584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 595	△ 1,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,632	△ 67
現金及び現金同等物に係る換算差額	190	46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,110	△ 553
現金及び現金同等物の期首残高	21,299	20,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,188	19,805

■ 株式の状況 (2022年9月30日現在)

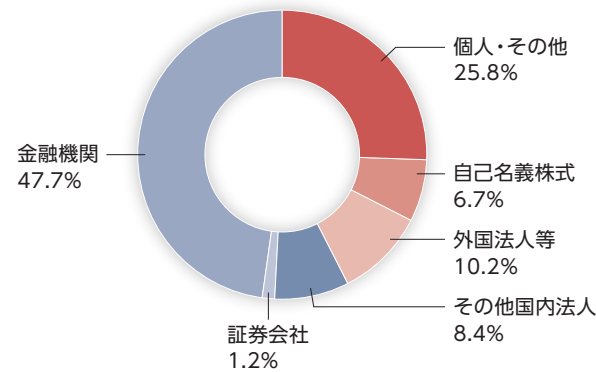
発行可能株式総数	39,376,600株
発行済株式の総数	13,098,490株
単元株式数	100株
株主数	6,347名

■ 大株主(上位10名) (2022年9月30日現在)

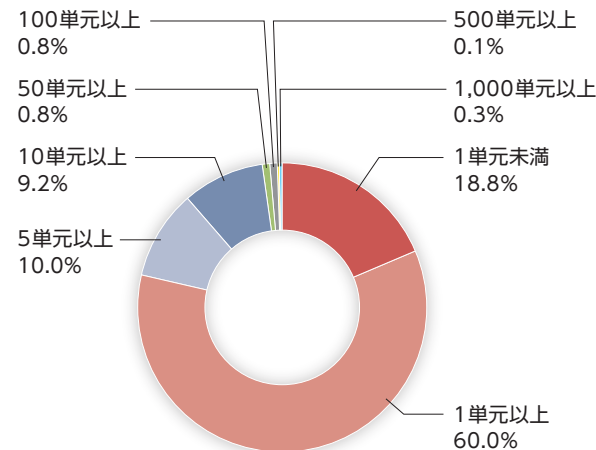
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
太陽生命保険株式会社	1,209	9.8
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,126	9.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	968	7.9
日本生命保険相互会社	678	5.5
株式会社りそな銀行	444	3.6
株式会社みずほ銀行	362	2.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	320	2.6
岩谷産業株式会社	289	2.3
株式会社三井住友銀行	219	1.7
株式会社奥村組	203	1.6

※1 当社は自己株式(880,467株)を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。  
 ※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 ※3 自己株式には、株式給付信託(BBT)の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式12,405株は含まれておりません。

■ 所有者別株式分布状況 (2022年9月30日現在)



■ 所有株式数別株主分布状況 (2022年9月30日現在)



■ 会社の概要 (2022年9月30日現在)

社名	株式会社 栗本鐵工所
英文社名	Kurimoto, Ltd.
創立	1909年2月2日
設立	1934年5月10日
資本金	31,186,098,159円
従業員数	1,343名(単体) 2,142名(連結)

■ 役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	菊本 一高
取締役会長	串田 守可
取締役常務執行役員	新宮 良明
取締役上席執行役員	織田 晃敏
取締役上席執行役員	吉永 泰治
取締役上席執行役員	浦地 好博
社外取締役	近藤 慶子
社外取締役	佐藤 友彦
社外取締役	澤井 清
常勤監査役	村田 実
社外監査役	有田 真紀
社外監査役	本多 修
上席執行役員	小島 眞也
執行役員	上田 高生
執行役員	野口 安次
執行役員	丸谷 等
執行役員	廖 金孫
執行役員	美濃 雅信
執行役員	佐野 康雄
執行役員	田淵 泰志
執行役員	藤本 容志
執行役員	中西 総一郎

■ クリモトグループ

国内関係会社

- 栗本商事株式会社
- ヤマトガワ株式会社
- 北海道管材株式会社
- クリモトロジスティクス株式会社
- クリモトパイプエンジニアリング株式会社
- 株式会社本山製作所
- 株式会社ケイエステック
- 八洲化工機株式会社
- ジャパンキャストリング株式会社
- 日本カイザー株式会社
- 株式会社ゼンテック
- クリモトポリマー株式会社
- 株式会社クリモトビジネスアソシエイツ

海外関係会社

- 栗光股份有限公司
- 栗鉄(上海)貿易有限公司
- Readco Kurimoto, LLC
- Kurimoto USA, Inc.